

# 県立安芸津病院広報誌 四季だより

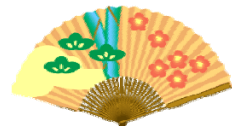
冬号 2008年1月(第29号)



**病院理念**  
私たちは  
患者様のためのまごころの医療サービスを行います。  
地域のみなさまから信頼される病院づくりに努めます。  
常に質の高い医療の提供ができるよう心がけます。

**監修 発行** 広報・患者サービス向上委員会  
県立安芸津病院  
広島県東広島市安芸津町三津 4388  
Tel 0846-45-0055

## 年頭の辞



県立安芸津病院院長 井上 正規



県立安芸津病院をご利用の皆様、明けましておめでとうございます。  
平成20年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
平成19年度の県立安芸津病院は新聞やテレビで報じられたように、数年来からの外来患者・入院患者減少、医師不足、さらには医療制度改革などに伴い、病院経営は他の自治体病院と同様、非常に厳しい状況にあります。しかしながら、われわれはこの安芸津病院を地域の中核病院として位置付け、特に小児科などの専門外来機能や二次救急医療に対応できる医療機関としての役割を担い、頑張っております。

さて、今年度の病院の目標は特に入院および救急における必要な患者サービスの充実に向け、一昨年からスタートした安芸津地区疾患懇話会(安芸津地区医師会の協力を得て)の開催、また、昨年は患者様のための地域医療連携室の設置、病院のホームページの開設(準備委員会立ち上げ)さらには医療公開講座の開講などです。これら遂行のため、われわれは広島中央地域対策協議会(地対協)・社会福祉協議会(社協)ならびに消防署などの行政の力をお借りしながら、安芸津病院を中心とした地域の医療機関のネットワーク化を推し進めていく所存です。これらの事業を充実させることにより、安芸津病院が地域のみなさまから信頼される病院としての機能を発揮できると考えております。

今後、安芸津病院の職員全員は一丸となって、この危機を乗り越えるために頑張っていく所存でございますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、安芸津病院をご利用いただいている患者様ならびにご家族の皆様方の今年のご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



## レントゲン(X線)写真について

「左側じゃなくて右側が痛いよ」「いやいや、外側じゃなくて内側が痛い」・・・など、レントゲン(X線)写真をとる時に指摘をされます。これを説明するためには、ちょっとだけレントゲン(X線)の事を聞いて下さい。  
X線とは物質を透過、簡単に言うと突き抜ける(通り抜ける)力を持っています。この力を使って、撮影する場所を突き抜けてきたX線を、写真にします。つまり、X線の通り道にあるものは全て写真に写ります。

例えば、胸の写真を「100」のX線ですとった場合には、肺はX線が良く通るので「80」通り抜けます。逆に肋骨は、X線が通りにくいのので「10」通り抜けます。この、通り抜けたX線の数数を数えて、多く通り抜けたものを黒く、少ないものは白く、とコンピューターが計算して写真を作っています。

右膝の外側が痛いとき、右膝を横に向けて痛い方(外側)を下にしても、逆方向に向けて痛くない方(内側)を下にしても、同じ写真になります。腰の場合も同じで、特に腰は右が痛いから右が悪いとは限らず、腰椎(腰の骨:5個の骨がある)という、いわゆる背骨に原因がある場合がほとんどです。私達放射線技師は、痛い所をきれいにとれる方法で撮影しています。

1枚1枚その患者様に合った最も良い方法を選択しますので、安心してお任せ下さい。  
わからないことがあれば気軽にお尋ね下さい。

放射線科 田口 雅章



## ジェネリック医薬品

最近テレビなどでよく聞く、「ジェネリック医薬品」をご存知でしょうか?

ジェネリック医薬品は、先発医薬品(新薬、標準製剤)と同レベルの品質、有効性および安全性が確認され、先発医薬品と治療学的に同等とされる医薬品の事を言います。

安芸津病院でも、昨年の11月からCTの造影剤が「オイパミロン」というジェネリック医薬品に変わりました。最大のメリットは価格が約半分程度で、医療費が安くなるという事です。欧米ではジェネリック医薬品を使用する割合が6割前後の国が多いのに比べ日本では2割弱と

普及が遅れています。普及すれば患者様が医療機関に支払う金額も安くなります。

ジェネリック医薬品が普及するとともに医療費負担が減少し、皆様が安心して医療機関に受診できる日を期待しています。



薬剤科 畠田 正和

## クリスマスコンサート開催

「MORE QUARTET (モア弦楽四重奏団)」と姉妹のデュオ、スカイのご協力で平成19年12月11日(火)第5回県立安芸津病院クリスマスコンサートを開催することができました。昨年に引き続き、職員参加として外科の西本先生による電子ピアノ独奏も行いました。鑑賞者数も100名を超え、うれしく思います。ご協力くださいました皆様、ありがとうございました。



皆様の今年の初夢は何でしたか? 一年の計は元旦にありといわれています。年はじめに1年の目標を立てその目標達成のために努力をすることは素晴らしいことと思います。目標に到達できるということは達成感に通じ生きる喜びにもなります。

ちなみにマズローの欲求段階説を御存知でしょうか。人間には5段階の欲求があり底辺から1段階ずつ登り欲求を満たしながら人間として成長していくというものです。1段階目は生理的欲求、2段階目は安全と安定な欲求、第3段階は社会的欲求、第4段階は自尊欲求、そして第5段階目が自己実現の欲求となります。

年の始めに何に自己実現を感じるか考えてみませんか。今年も素晴らしい年になりますようお祈りしております。

広報患者サービス向上委員会 有田 由美子